

平成30年11月16日  
気象研究所  
地球環境・海洋部

## 世界気象機関（WMO）砂塵嵐警戒評価システム（SDS-WAS）アジア地区 運営グループ会合及び国際砂塵嵐ワークショップの開催について

アジア各国の黄砂観測・予測業務の強化や研究開発における連携等を進めるため、標記会合を平成30年11月19日～21日に文部科学省研究交流センター（茨城県つくば市）で開催します。

WMOのSDS-WASは、各国気象機関及び研究コミュニティにおける砂塵嵐（黄砂）の観測・予測・知識の共有を促進するプロジェクトです。黄砂に関するデータの即時的交換や研究開発の連携を促進し、各国における黄砂実況監視・予測精度の向上等を目指します。

この度、アジア地区におけるSDS-WASの運営を担う「地区運営グループ」（当庁から気象研究所の専門家が参画）会合を開催し、参加各国の黄砂観測・予測の状況等の共有や、SDS-WASアジア地区の具体的な実施計画等についての議論を行います。

また、同グループ会合の前日には「国際砂塵嵐ワークショップ」を開催し、砂塵嵐の監視・予測手法、その天候・気候影響に関する最先端の研究成果の共有・議論を図ります。

日程：平成30年11月19日 国際砂塵嵐ワークショップ  
平成30年11月20～21日 WMO SDS-WASアジア地区運営グループ会合  
場所：文部科学省研究交流センター（茨城県つくば市）  
議題：別紙をご覧ください。  
参加者：SDS-WASアジア地区運営グループメンバー等約40名  
（中国、インド、日本、韓国、WMO事務局）

当日の取材について：

・希望する社は、事前に気象研究所企画室までご連絡願います。

問合せ先：気象庁気象研究所企画室 担当 高橋  
電話：029-853-8534 FAX 029-853-8545  
気象庁地球環境・海洋部環境気象管理官付 担当 藪  
電話：03-3212-8341（内線 4235） FAX 03-3211-8309

(別紙)

## ○国際砂塵嵐ワークショップ議題

11月19日（月）

セッション1：国際的な砂塵嵐関連活動

セッション2：観測・監視研究

セッション3：予測モデル研究

セッション4：データ同化及び気候研究

## ○WMO 砂塵嵐警戒評価システム（SDS-WAS）アジア地区運営グループ会合議題

11月20日（火）

SDS-WASのWMO各計画への貢献に関する報告

世界天気研究計画の実施計画における優先順位

SDS-WAS科学・実施計画（2015～2020）の修正

風送ダスト年報（2019）の検討

他の国連計画やSDS-WASノード間連携の検討

各国からの報告（中国、韓国、日本、インド、モンゴル、カザフスタン）

各WGからの報告（モデル相互比較、観測データ共有、ポータルサイト、データ同化）

11月21日（水）

SDS-WASアジア地区における地区特別気象センター（RSMC-ASDF）からの報告

SDS-WASの大気汚染煙霧・霧への拡張について

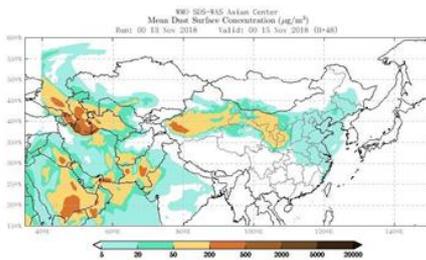
運営グループの今後について（新議長選出、運営グループメンバー、次回会合、研修）

(参考資料)

SDS-WASアジア地区における砂塵嵐予測結果の共有例 (黄砂の地表面付近濃度)  
[http://eng.nmc.cn/sds\\_was.asian\\_rc/](http://eng.nmc.cn/sds_was.asian_rc/)

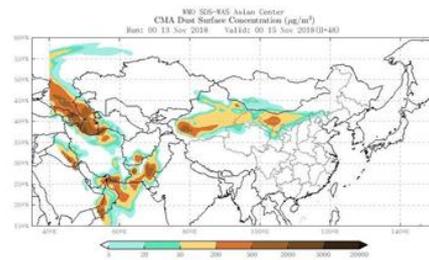
ENSEMBLE FORECAST

各国モデル平均



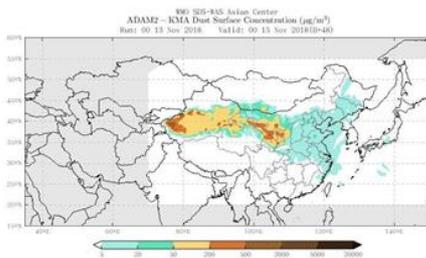
CMA FORECAST

中国気象局



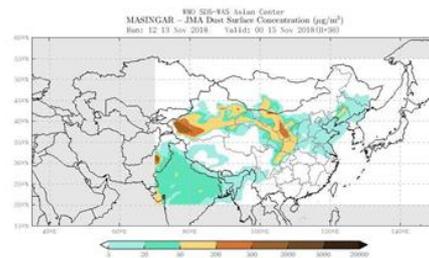
KMA FORECAST

韓国気象庁



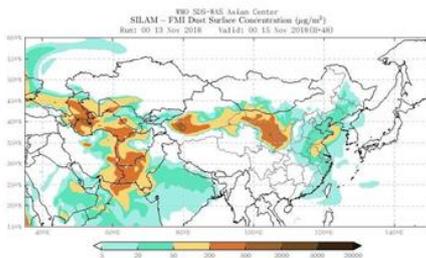
JMA FORECAST

気象庁(日本)



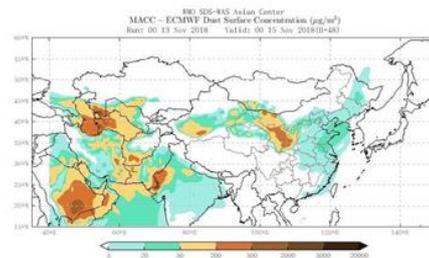
FMI FORECAST

フィンランド気象研究所



ECMWF FORECAST

欧州中期予報センター



NCEP FORECAST

米国気象局

